

ロータリー財団を理解するために

パストガバナー 亀岡 弘

ロータリー財団を構成する法人会員は国際ロータリーのみであり、ロータリー財団の正式名称は、「国際ロータリーのロータリー財団」です。国際ロータリーと法的に組織は違っても、その目的・使命・活動は両者共に一体のものです。

1. ロータリー財団の使命、標語、優先事項

2007年の規定審議会で、国際ロータリー理事会からロータリー財団の使命、標語、優先事項に関する決議が提出され、採択されました（07-116）。

使命：ロータリアンが、健康状態を改善し、教育への使命を高め、貧困を救済することを通じて、世界理解、親善、平和を達成できるようにすること。

標語：『世界でよいことをしよう（Doing good in the world）』

これは、アーチ・クランフがロータリー財団設立のとき述べた言葉です。

優先事項：・すべてのプログラムと運営を簡素化すること。

- ・プログラムの成果も内容も未来の夢計画に沿ったものにする。
- ・地区レベル、クラブレベルにおいてロータリー財団へより一層参加し、ロータリー財団を自分たちの財団と自覚すること。
- ・プログラムの目標達成のための十分な資金と人材を提供すること。
- ・未来の夢計画を支える効果的な方策を開発すること。

2. 未来の夢計画に基づく新補助金

1) ロータリー財団新地区補助金（Rotary Foundation District Grants）

新地区補助金は、現行の地区補助金と似ていますが、多くの点で異なりますので、「新」を入れています。地元社会でも海外でも、またロータリーのない国でも事業を実施できます。

2) ロータリー財団グローバル補助金（Rotary Foundation Global Grants）

グローバル補助金は、次の6種類の重点分野に実施します。平和と紛争予防／紛争解決、疾病予防と治療、水と衛生設備、母子の健康、基本的教育と識字率向上、経済と地域社会の発展。

3. ロータリー財団のプログラムと財団への寄付金の行方

◎ プログラム

現在、次の3種類に大きく分けることができます。

1) 人道的プログラム（Humanitarian Program）

マッチング・グラント（Matching Grants）

地区補助金（District Simplified Grants）

ボランティア奉仕活動補助金 (Volunteer Service Grant —VSG)

3-H 補助金 (3-H Grants) [保健、飢餓追放、人間尊重]

2) 教育的プログラム (Educational Program)

国際親善奨学金 (Ambassadorial Scholarship)

世界平和フェローシップ (World Peace Fellowship)

研究グループ交換 (Group Study Exchange —GSE)

大学教員のためのプログラム (Rotary Grants for University Teachers)

ロータリー平和および紛争解決研究プログラム (Rotary Peace and Conflict Studies Program)

3) ポリオ・プラス・プログラム (Polio Plus Program)

◎ 寄付金

大きく分けて 3 種類あります。

年次寄付 恒久基金 使途指定

1) 年次寄付

年次寄付は、寄付の基盤であり、使い道を指定することなく、ロータリー財団に寄付するものです。寄付して 3 年後に、地区の年次寄付総額の 50%が**地区活動資金 (District Designated Fund=DDF)**、他方 50%が**国際財団活動資金 (World Fund=WF)**として使われます。年次寄付の認証はポール・ハリス・フェローです。

2) 恒久基金寄付

ロータリー財団が資産として、1980～81 年度に世界理解と平和のためのロータリー財団基金の設立をしました。1994 年 11 月に、この基金は、ロータリー財団恒久基金と改称されました。恒久基金寄付への認証はベネファクター（後援者）です。

3) 使途指定寄付

使途指定寄付は、あらかじめ使い道を決めて寄付するものです。その代表例はポリオ・プラスです。

◎ 寄付金の行方

寄付金は、「第 1 ゾーン～第 4 ゾーン A ロータリー財団地域セミナーハンドブック」“ロータリー財団への寄付の行方” 114 頁のスキームを参照して下さい。

人道的プログラム

- マッチング・グラント：現在ロータリー財団最大のプログラムです。ロータリー財団の補助金総支出額の 3 分の 1 を占めます。衛生や水質浄化をはじめとして、識字率向上プログラムやあらゆる保健問題など国際規模の人道的プロジェクトについて、クラブと地区に授与されます。
ロータリー財団のファンドとは別に当第 2640 地区には、クラブ単独またはクラブ合同で世界社会奉仕に使用できるよう WCS ファンドがあります。
- 地区補助金：国内または地区内の社会奉仕プロジェクトに補助金を出すというもので DDF を使います。
- ボランティア奉仕活動補助金：旅費が支給される唯一の補助金で WF を使います。
- 3-H 補助金：この目的は、国際間の理解、親善および平和を促進するための方法として、人々の健康状態を改善し、飢餓を救済し、人間的な社会発展を計ることです。

教育的プログラム

- 国際親善奨学金：1 学年度(9 ヶ月)の国際親善奨学金、マルチ・イヤー国際親善奨学金、文化研修のための国際親善奨学金があります。
- 世界平和フェローシップ：「紛争解決と平和における国際問題研究のためのロータリー・センター」（通常ロータリー・センター）。世界平和奨学金（World Peace Scholarship）の名称を世界平和フェローシップ（World Peace Fellowship）に改正。奨学生はフェローになります。地区から奨学生を推薦しますが、世界平和フェローは世界を枠とする競争制によって世界から 70 名まで選ばれることになっています。ロータリー・センターは、国際基督教大学（日本、東京）をはじめ世界で 7 大学あります。
- 研究グループ交換（GSE）：一つの国から別の国に専門職務と事業に従事するチーム(団長 1 人と組員 4 人)を 4 週間～6 週間交換するもので、異なる文化の中で自分の職業がどのように遂行されるかを見る機会に恵まれます。
- 大学教員のための補助金：この補助金は特別なボランティア活動で、自国以外の低所得国の大学で教鞭を執る優秀な大学教員に授与されます。
- ロータリー平和および紛争解決研究プログラム（RPCS）：5 番目の教育的プログラムで、2006 年 7 月 1 日より始まった 3 年間の試験的プログラムです。これは、タイ、バンコクのチュラロンコーン大学で、3 ヶ月間、紛争解決について学ぶものです。

ポリオ・プラス・プログラム

1985 年は国連の 40 周年に当たり、そのとき、ロータリーは 1 億 2,000 万ドルを集めるという声明を発表し、1986 年 7 月からスタートしました。

米州地域、西太平洋地域、ヨーロッパ地域でポリオ根絶宣言が出されましたが、2007 年現在、ナイゼリア、アンゴラ、パキスタン、アフガニスタンなどに発生あるいは発生の危険があります。2007 年 11 月ビル・ゲイツ財団がポリオ撲滅のため、ロータリーに 1 億ドルのチャレンジ・グラントを授与しました。これを受けてロータリーがゲイツ財団の 1 億ドルと同額を集めることを約束しました。さらに、ビル・ゲイツは 2009 年度の国際協議会でポリオ撲滅を再び訴え、前回の 1 億ドルに加え、2 億 5,500 万ドルを提供することを発表しました。国際ロータリーは「ロータリーの 2 億ドルのチャレンジ」と銘打って 2012 年 6 月 30 日までに募金活動を通じて上乗せ資金を調達していくこととなります。第 2640 地区ではその対策を中島パストガバナーが本年度の地区大会の席上で発表しています。

4. 特定非営利活動法人ロータリー日本財団（NPO Rotary Foundation Japan）

ロータリー日本財団が設立されてから一括 20 万円以上の年次寄付と恒久基金寄付には、教育的プログラムに限り、税制上の優遇措置が講じられるようになりました。